

STEP6 選考試験・面接に備えよう

■ 筆記試験（適性検査）

筆記試験（適性検査）は、テストセンターや企業の会議室、自宅のPCなどで受験することが一般的です。企業は筆記試験を行うことで、応募者の基礎学力やパーソナリティ、情報処理能力などを判断しています。基準点を超えた応募者のみが面接に進めるなど、書類審査と同様に、初めの選考要素として設定している企業が多くみられます。

また、受験方法は企業によって異なります。企業が指定する会場に赴いて受験する形式や、自宅の個人PCからオンラインで受験する形式がありますので、企業からの指示に従いましょう。



● SPIテスト（Synthetic Personality Inventory）

SPIテストは日本の就職活動で最も主流の筆記試験です。SPI3からは、新しく性格検査が導入され、テスト内容は、基礎能力（言語＋非言語）と性格検査の2つで構成されています。能力検査だけでなく性格検査もあることから、企業は学生の適性を踏まえた総合的なポテンシャルを測ることができます。

💡 アドバイス

SPIテストは短時間で多くの問題を解く必要があり、解答スピードが問われます。言語系・非言語系の問題ともに、豊富な語彙力と読解力が必要です。留学生のみなさんにとっては非常に難易度が高いと言えますが、日本語能力を上げることが高得点への近道ですので、まずは問題を繰り返し解き、出題形式や出題に使われる日本語にしっかりと慣れておきましょう。

● 玉手箱

玉手箱は、SPIテストと並んで代表的な筆記試験です。計数問題、言語問題、英語問題、性格検査の4項目から構成されています。SPIテストより制限時間が短く、より短時間で問題を解き進める必要がありますが、問題パターンが限定されているため、出題形式に慣れてしまえば、SPIよりも高得点を狙いやすいでしょう。

💡 アドバイス

玉手箱は同じ問題形式が連続して出題される特徴がありますので、出題傾向を知り、繰り返し練習問題を解く事で、比較的スムーズに解答できるようになります。電卓の使用が許されることが多いですので、電卓を使った計算にも慣れておきましょう。

● CAB（Computer Aptitude Battery）

CABは、情報処理・システム関連の企業の多くで採用され、主にSEやプログラマーなどコンピューター職を志望している学生の適性を測るためのテストです。コンピューター職に必要な知的能力が試される暗算、法則性、命令表、暗号と性格検査の5項目から構成されています。

💡 アドバイス

CABは、図形や暗号を解読するパズルのような問題がほとんどなため、他のテストのように難しい日本語を解読する必要がないという部分では、留学生のみなさんも高得点を狙いやすいテストです。いかに素早く正確に情報を処理できるかが重要ですので、何度も繰り返し練習してスピード力を鍛えましょう。

● GAB（Graduate Aptitude Battery）

GABは、総合商社や専門商社、証券・投資、総研など、高い知能を要する業界の総合職用の検査として採用されています。就職活動における筆記試験の中では最も難易度が高いとされており、基本的には言語理解、計数理解と性格検査の3項目から構成されています。

💡 アドバイス

GABは、非常に難易度が高く、日本人でも苦勞するテストです。特に言語理解分野では、250～500文字程度の長文読解を1問あたり約30秒のスピードで解き進める必要があります。

長文読解のコツは「長文を読む前に設問から読む」ことです。設問で問われていることに着目しながら長文を読むことで時間を大幅に短縮することができます。

POINT 共通の対策ポイント**① それぞれのタイプの練習問題を解いてみる**

まずは、先に紹介した4つのタイプのテストを実際に解いてみましょう。今の自分の実力がどのくらいなのか把握することも大切です。繰り返し問題を解くことで、得意分野と苦手分野が明確になり、対策がしやすくなります。

② 本番と同じ環境、同じ気持ちで模擬試験を受けてみる

練習問題に慣れてきたら、本番と同じ形式で試験を受けてみましょう。本番では、好きな時間に休憩を取ることができませんので、集中力が切れてしまうこともあります。本番環境に慣れることが大切です。

③ 新聞やニュースを毎日チェックする

新聞やニュースを毎日チェックして、日々の時事問題に関心を持ちましょう。筆記試験の時事問題や、長文読解に非常に有効です。新聞には、スマートフォンで読めるデジタル版もあるので、新聞の入手が難しい場合は利用するのもよいでしょう。

● WEBテスト 対策サイトの紹介

STEP3で紹介した下記の就職情報サイトでは、筆記試験の練習問題にチャレンジすることができます。WEBテストに挑戦して自分の実力を確認したり、得意・苦手分野を把握しましょう！



*** マイナビ2024（適性検査対策WEBテスト）** ※実施スケジュールあり

<https://job.mynabi.jp/24/pc/forward/forwardMockTest/index>



*** リクナビ2024（言語・非言語Webテスト）** ※指定受験期間あり

<https://job.rikunabi.com/2024/webtest/>



*** キャリタス就活（お試し！Webテスト）**

<https://job.career-tasu.jp/contents/exam/webtest/webtest.html>

■ GD・GW（グループディスカッション・グループワーク）

GD（グループディスカッション）、GW（グループワーク）は、企業によって方法やテーマが様々です。数人でグループになり、テーマに沿って討論をしたり、企画を立てたりする中で、社会人としてのマナーや協調性、積極性が問われます。あくまでチームワークを意識しましょう。

● GW・GDの流れ**① テーマが出題される**

企業からGD・GWのテーマが発表されます。

**② リーダー・タイムキーパー・書記などを決定する**

リーダーは、なってもならなくてもOK。リーダーが必ずしも評価される訳ではありません。各自の立場で、すべきことをしているかがチェックされます。

※役割をじゃんけんで決めるのはNG！「今までリーダーの経験がある方はいますか？」などと、経験から割り振るとよいでしょう。

③ 時間配分を決める

タイムキーパーを中心に時間配分を決めます。最後に時間が足りなくなることもしばしばありますので、時間配分をしておくことで発表までスムーズに進められます。タイムキーパーになったら、話し合いに夢中になって時間チェックを忘れてしまうことが無いように気を付けましょう。

④ 意見を出し合い、チームの発表内容を決定する

ここでは「協調性」がチェックされます。自分の意見に自信があっても、無理に意見を押し通すのはマイナス評価です。他の人の意見を尊重しながら、テーマに沿った意見がまとまるように協力しましょう。

⑤ 発表

これは基本的にはリーダーの役目になります。GD・GWのテーマには、正解がないものがほとんどです。話し合いのプロセスでどう考えたか、どう工夫したかなどを具体的に発表しましょう。

■ 面接（対面）

選考面接は、人数と形式の違いによって、いくつかの種類に分かれており、通常一つの企業で内定が確定するまでに3～4回の面接が行われます。最初から最後まで、一貫した自己PRと態度で臨むことが重要です。どんな形式でも落ち着いて話せるよう、何度も予行練習をしましょう。

POINT 面接でのマナー・注意するポイント

① 最寄り駅に30分前には到着し、受付は5～10分前にする

面接会場の最寄り駅に30分前には到着するようにしましょう。駅に到着したら、トイレの鏡で身だしなみをもう一度チェックするとよいでしょう。万が一、電車の運休・遅延、事故などで遅れてしまう場合は、必ず企業の担当者に電話で連絡をしましょう。

② コートなどの上着は建物の外で脱いでおく

上着は建物に入る前に脱ぐのがマナーです。コートについた汚れや花粉を室内に持ち込まないように、たたむ際は裏返しにたたむのが基本です。

③ スマートフォンの電源は切っておく

スマートフォンは、サイレントモードではなく、必ず電源を切るようにしましょう。待機時間も同じです。スマートフォンを見るのはマナー違反です。

④ 面接会場ですれ違う人には笑顔で会釈をする

面接会場ですれ違う人は、その会社の社員の可能性が高いです。すれ違う際は、無視せずに笑顔で会釈をするようにしましょう。

⑤ 面接終了後も気を抜かない

面接が終わっても、企業のチェックは続いています。最寄り駅に着くまでは、気を抜かないようにしましょう。

● 面接の流れ

① 入室 ～名前を呼ばれたら大きな声で返事をし、ノックして入室します～

1



ドアをノックする

面接官に「お入りください」と言われてからドアを開けます。ノックは3回が望ましいです。

2



ドアの前で一礼

ドアは静かに閉め、入室したらすぐに椅子へ向かわずに、まずドアの前で一礼します。

3



椅子の横で一礼

「〇〇大学の△△と申します。よろしくお願いいたします。」と自己紹介をします。このとき面接官と目を合わせるとよいでしょう。

4



着席

面接官に「どうぞ、おかけください」と言われてから着席します。勝手に座るのはNGです。

② 退室 ～入室と反対の流れで退室します～

1



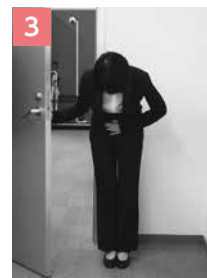
起立して一礼

椅子の横に立ち、「**本日はありがとうございました。**」とお礼を述べてから一礼します。



ドアの前で一礼

ドアまで戻り、ドアを背にしてから「**失礼いたします。**」と言って一礼します。



退室

ドアを静かに開けて退室します。閉める時も静かに閉めます。廊下での余計なおしゃべりなどは慎みましょう。

③ おじぎ・座り方のマナー



おじぎの例

深すぎず、浅すぎない30度の角度を意識しましょう。



座り方の例

深く腰掛けず、背筋を伸ばしましょう。背もたれに寄りかかるのもNGです。

● WEB面接（オンライン）

地方在住の学生の移動の手間を省いたり、感染症対策としてWEB（オンライン）面接を取り入れる企業が多くなっています。WEB上のシステムを利用して、集団面接や個人面接を行います。

面接の内容は、対面で行う面接と大きな差はありませんが、WEB面接の際に特に気を付けるべきポイントを把握しておきましょう。



POINT WEB面接で注意するポイント

① 場所は友人や他人がいない個室を選び、環境に合わせて位置を決める

WEB面接を行う場所は、他の人がいない個室を選び、照明の位置や窓の方向、背景などの環境に配慮して位置を決めましょう。後方からの日差しや照明は逆光になり、顔が暗く見えてしまうため、気を付けましょう。

② 安定したインターネット環境を確保し、あらかじめ接続テストをしておく
インターネットの接続が不安定だと、面接を円滑に行うことができません。できれば有線LANケーブルがある環境で行いましょう。難しければWi-fiルーターがそばにある環境を確保しましょう。

③ PCや端末の充電はフルに、他のアプリの通知はオフにする

面接中に充電不足で切れてしまうことが無いよう、ノートパソコンやタブレット等の充電はフルにしておきましょう。また、面接中に不要な通知が出ないよう、メッセージアプリなどの通知はオフにしておくとい良いでしょう。

④ 服装は面接にふさわしい格好で、リアクションは大きめにする

WEB面接とはいえ、正式な面接に変わりはありません。企業からの指定がない場合は、スーツで参加するのが無難です。また、手元などが相手に見えないため、身振り手振りなどの表現に制限があります。リアクションや、相手の話に頷くときは、普段より少し大きめにしましょう。

STEP7 内定後にすべきことを理解しよう

■ 内定・内々定

最終面接に合格したら、企業から内定・内々定の通知があります。基本的には電話やメールでの通知になりますが、企業によっては郵送（書面）のみでの通知という場合もありますので、連絡方法をしっかりと確認しておきましょう。

内定と内々定は、同じ意味として使われることが多いですが、法的には違いがありますので、トラブルに巻き込まれないよう、それぞれの意味をしっかりと理解しておきましょう。

POINT 内定と内々定の違い

① 内定

内定通知により、就労開始予定日からの「労働契約」が成立します。承諾書がある場合は、学生がそれに署名して企業が確認した段階で「労働契約」が成立します。「労働契約」が成立した場合、正当な理由が認められない限り、企業側から一方的に契約解除（内定取り消し）はできません。

② 内々定

内々定とは、内定による「労働契約」が成立する前の段階を指し、「労働契約」による拘束関係は発生しません。企業側は、この段階で内々定を取り消しても、損害賠償の義務は原則発生しません。

ただし、内々定の状態はお互いに不安定な状態なので、企業から「内々定承諾書」の提出を求められる場合があります。入社をする気がない場合は、すぐに辞退の連絡をしましょう（遅くても内々定の連絡から1週間が目安）。

また、他社の選考結果を待ってから返答したい場合や、内々定をキープした状態で就職活動を続けたい場合でも、期日までに承諾書を返送する必要があるので注意しましょう。期日までの返送が難しい場合は、速やかに企業に連絡・相談するようにしましょう。